

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		2/26-3/4	3/4-3/11	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.059	0.047
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.056	0.042
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.043
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.017	0.021
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.014
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.050	0.048

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		2/26-3/4	3/4-3/11	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.014	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第129回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(2020年2月26日~2020年3月11日)

今回、大気中の浮遊塵に含まれる放射性物質は、セシウム134が全く観測されず、セシウム137が平均0.025mBq/m³と極めて低い濃度でした。この濃度のセシウム137が発する放射線量は、自然放射線量より少なく、事故による過剰被ばくを考えなくて良い状態です。
この3月で事故後9年が過ぎましたが、この事故から学んだ様々なことを科学的、論理的かつ人間的に解析し、次の世代にしっかりと伝えていかなければならないと私は考えております。